

各位

上場会社名 リバーエレクトック株式会社
 代表者 代表取締役社長 若尾 富士男
 (コード番号 6666)
 問合せ先責任者 取締役総務本部長 高保 譲治
 (TEL 0551-22-1211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,125	△1,060	△1,050	△1,095	△148.56
今回発表予想(B)	5,163	△883	△863	△3,486	△472.95
増減額(B-A)	37	177	186	△2,391	
増減率(%)	0.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	5,884	△795	△794	△1,425	△190.67

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,912	△748	△754	△804	△109.16
今回発表予想(B)	4,957	△640	△624	△3,537	△479.92
増減額(B-A)	44	107	130	△2,733	
増減率(%)	0.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	5,492	△63	△43	△328	△43.87

修正の理由

(1) 連結業績予想

通期における売上高は、前回予想に対し、無線モジュール製品、AV機器向けの販売数量が伸び悩んだものの、小型水晶振動子や水晶発振器の販売価格が前回予想を上回ったことなどにより、売上高は前回予想に対し37百万円増の5,163百万円となる見込みであります。

損益面につきましては、売上高の増加や経費削減等に取り組んだ結果、営業損失は同177百万円改善の883百万円、経常損失は同186百万円改善の863百万円となる見込みであります。当期純損失は上記理由に加え、本日別途公表の「特別損失の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、水晶製品事業に係る機械設備等の減損に伴う特別損失の発生2,676百万円が発生したことなどにより同2,391百万円悪化の3,486百万円になる見込みとなりましたのでそれぞれ修正いたします。

(2) 個別業績予想

個別業績予想の修正につきましては、前記連結業績予想の修正理由とほぼ同様の理由のほか、当期純損失につきましては、本日別途公表の「特別損失の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、水晶製品事業に係る機械設備等の減損に伴う特別損失の発生1,627百万円及び関係会社事業損失引当金繰入額1,227百万円が発生したことなどにより前回予想に対し、2,733百万円悪化の3,537百万円になる見込みとなりましたのでそれぞれ修正いたします。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以上